

未来を開く

長井市立長井北中学校 No39 令和7年1月23日

第2回学校評価結果

「学校評価」へのご協力、ありがとうございました。各項目の結果から、成果や課題等を明らかにして、今後に生かしてまいります。

(+、-は前回比)

1 確かな学力の育成	生徒	保護者	教職員
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	95% (-3)	/	/
②授業はわかりやすく、楽しいと感じる	85% (-5)	86% (-1)	100% (±0)
③自分は、授業中に積極的に友達と話し合ったり、教え合ったりしている	88% (-7)	/	89% (-4)
④5時間授業の日があることで、家庭学習に計画的に取り組んでいる	76% (+3)	58% (+3)	83% (+5)
2 自尊心の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	73% (-4)	96% (-1)	89% (-4)
②自分の役割に、責任を持って活動することができている	93% (-3)	/	94% (-6)
③いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活することができる。	93% (-3)	84% (±0)	94% (-6)
④先生方や友達は、困ったときに相談にのってくれる	94% (±0)	/	/
3 健康・体力の育成	生徒	保護者	教職員
① 家庭で決めたルールを守って、SNS(インターネットやゲーム)をしている	85% (-6)	60% (+8)	83% (+4)

②朝食をしっかりと摂り、睡眠時間を確保している	89% (±0)	74% (+3)	78% (-1)
③交通ルールを守り安全に注意して、事故やけがに遭わないよう努力している	98% (-1)	/	100% (±0)
④5時間授業が多くあることで、家庭での生活にゆとりができています	86% (-8)	58% (-12)	/
4 地域の学校・開かれた学校づくり	生徒	保護者	教職員
①北中は、地域に貢献し、地域と共に伸びる学校になっていると思う	/	86% (-3)	89% (-11)
②学校だよりや学年・学級だより等で学校や生徒の様子がよくわかる	/	95% (+4)	94% (+1)

※数値は、4段階評価のAとBの数値の合計

A：大変よくできている B：まあまあできている

C：あまりできていない D：ほとんどできていない

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理しました。

生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれる」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声がけしている」などと読み替えてください。



学校としては、次のような《考察》を行いました。

1 確かな学力の育成
① <u>生徒の授業への意欲</u> 生徒のA、Bの合計が95%。授業に前向きに取り組んでいる。(1年90%、2年98%、3年95%) 今後も継続したい。
② <u>わかりやすい授業</u> 1年生79(-15)%、2年生91(+2)%、3年生84(-4)%、教員100(±0)%。学年による差、生徒と教師に意識の差がある。生徒の思考に沿った「わかる」「できた」の実感が伴う授業づくりを進める。
③ <u>話し合いや教え合い</u> 生徒88(+2)%、教員の指導89(-4)%。基礎基本の習得を中心とした授業、基礎基本を活用したり探究したりする授業を意図的・計画的に行う。その中で対話や交流を効果的に行う。

④ 家庭学習

生徒76(+3)%、保護者58(+3)%、教員の指導83(+5)%。個々の生活リズムに合わせた学習計画の立て方指導、授業でのまとめや振り返りを通した学習調整力の育成を通し、自発的な学習意欲の向上を図る。

2 自尊心の育成

① 自分の長所を言える

生徒73(-4)%、保護者96(-1)%、教員の指導89(-4)%。取組の事実や成長したことを具体的に賞賛することや、教師や家族だけでなく、生徒同士で“よさが言える”取組を行う。

② 責任感

生徒93(-3)%、教員の指導94(-6)%。係活動、生徒会活動、行事等で役割を持ち、やり遂げる達成感を感じている。

③ いじめや嫌がらせがない

生徒93(-3)%、保護者84(±0)%、教員の指導94(-6)%。安全・安心の基盤がある。未然防止に重点を置いた指導、評価が低い生徒への個別の支援を充実する。

④ 相談にのってくれる

生徒94(±0)%。生徒と教師間に信頼関係がある。相談できない6%の生徒へのかかわりを丁寧に行っていく。

3 健康・体力の育成

① メディアのルール

生徒85(-6)%、保護者60(+8)%、教員の指導83(+4)%。守っているつもりが生徒、守らせられないと感じている保護者、学校の危機意識。内発的な動機づけを図りながら、家庭と学校が連携し、ルールづくりと徹底に努めたい。

② 朝食・睡眠

生徒89(±0)%、保護者74(+3)%、教員の指導78(-1)%。学校での保健指導により内発的な動機づけを図るとともに、家庭学習計画とともに、個々の生活リズムに合わせた適切な生活習慣づくりを啓発する。

③ けが・事故防止

生徒98(-1)%、教員の指導100(±0)%。危険防止意識が高く、安全・安心の基盤がある。具体的な指導

の継続、教員間の即時共有・即時指導の徹底を継続する。

4 開かれた学校づくり

① 地域に貢献する学校

保護者86(-3)%、教員の指導89(-11)%。地域ボランティア等への積極的な参加が見られる。更に生徒自ら地域に関わろうとする意識づけと機会の設定に努める。

② 情報発信

保護者95(+4)%、教員の指導94(+1)%。今後とも、「学校だより」「学年・学級だより」「ホームページ」等で情報発信を進める。

この他、生徒、保護者の方々からは貴重な「声」をたくさん頂戴しました。職員で謙虚に受けとめ、日常指導に生かすことを確認しました。

〈 3 学期の指導のポイント 〉

◇毎日の授業や家庭学習を一層充実させ、学力向上を図る

- ・生徒の思考に沿った授業づくりをすすめ、「わかる」「できる」「楽しい」授業を行い、「学力」をつける。
- ・授業における自己の変容を振り返る場を大切にし、次の学び(授業、家庭学習)への意欲を高める。

◇自分に自信を持たせる

- ・一人一人の良さを取り上げ、周囲からの働きかけを意識して行い、生徒の自信につなげる。
- ・生徒の自己決定や目標設定を大切にし、物事に主体的に取り組むことができるようにする。

◇生活リズムを整える

- ・家庭学習習慣と併せて、個々にあった生活習慣づくりを指導する。
- ・内発的な動機づけを図りながら、メディアのルール等、家庭との連携のもと、自己管理の視点から声がけ等に努める。

◇安全意識の一層の高揚を図る

- ・冬季間の安全な登下校の指導を繰り返し行うとともに、感染症予防対策を引き続き徹底していく。

今後、お気づきの点は、その都度、学校までお寄せくださるようお願いいたします。